

# J A秋田ふるさと自己改革工程表

J A秋田ふるすとは平成26年度より、組合員との徹底した対話に基づいて、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする創造的自己改革の実践に全力で取り組んできました。

令和4年度からは、組合員との対話に基づく自己改革実践サイクルの取り組みを開始し、重点目標と成果指標・目標値を設定して実践しています。主な取り組みは以下のとおりです。

## 農業者の所得増大・農業生産の拡大

農業者の売上増加・コスト低減につながる取り組みを実践しています

直販取引・全農買取・通信販売サイトを通じた主力品目野菜の販売

対象者：農産物生産者

令和6年度

440百万円

令和4年度

令和5年度

令和6年度

目標

実績

目標

目標

420百万円

432百万円  
(102.8%)

430百万円

440百万円

超大型規格農薬の普及拡大を通じたコスト低減

対象者：大規模経営体

令和6年度

1,050袋

令和4年度

令和5年度

令和6年度

目標

実績

目標

目標

950袋

1,317袋  
(138.6%)

1,000袋

1,050袋

銘柄集約肥料の取扱拡大を通じたコスト低減

対象者：必要とする全ての者

令和6年度

30,000袋

令和4年度

令和5年度

令和6年度

目標

実績

目標

目標

25,000袋

26,432袋  
(105.7%)

27,000袋

30,000袋

## 地域の活性化

地域の基幹産業である「農業」の活性化につながる取り組みを実践しています

地域農業振興の応援団の拡大（地域の農業振興を応援する意思確認）

令和6年度

新規250人/年

令和4年度

令和5年度

令和6年度

目標

実績

目標

目標

250人

234人(93.6%)

250人

250人

## 対話・意思反映

正組合員と准組合員が一体となったJ A運営を実現する取り組みを実践しています

項目

令和4年度計画

令和4年度実績

令和5年度計画

組合員アンケート

年2回

2回  
・9月13,530名宛配付、73件回答  
・2月准組合員向け500名宛配付

2回/年

支部座談会

年2回

2回(9月、3月)  
延べ212会場、2,126名出席

2回/年

常勤役員と正・准組合員との対話

地区運営委員会・J A運営委員会・各生産部会会議等にて意見聴取

・地区運営委員会延べ154名、JA運営委員会延べ39名と対話(うち准組合員16名)  
・各生産部会総会等にて対話  
・農業法人、集落営農組織訪問巡回(11月、60法人・23組織)等

・地区運営委員会2回/年  
・JA運営委員会2回/年  
・各生産部会会議等での対話  
・農業法人、集落営農組織訪問巡回1回/年

## 経営基盤の確立・強化

J A経営における、安定的な収益性確保につながる取り組みを実践しています

場所別損益および施設利用状況等に基づく拠点別の経営改善

令和6年度

経営資源調査に基づいた経営資源再分配による収支改善

令和4年度

令和5年度

令和6年度

目標

実績

目標

目標

・1出張所再編再配分案策定

・1出張所再編(100%)経営資源再配分案策定について協議

・再編検討継続、再配分案策定、実行

・再編検討継続  
・再配分案実行

信用事業の効率化

令和6年度

営業店システム(事務支援・遠隔相談・貸出)の稼働・費用削減

・貸出システム全店導入  
・遠隔相談システム全店稼働

・貸出システム全店稼働  
・遠隔相談システム稼働テスト実施

・信用事業端末(営業店システム対応)導入

・営業店システム稼働  
・効率化店舗運用開始(1店舗)